

ほけんだより

病児・病後児保育「みどり」
令和6年6月発行

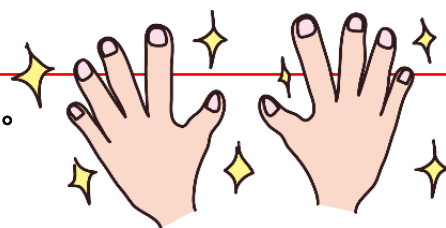


今月のテーマは「**つめを切りましょう**」です！

気がつくと思ったらという間に伸びてしまう子どものつめ。ケガの予防や衛生を保つため、こまめに切って適切な長さにしておく必要があります

子どものつめ切りの必要性

顔や手足をひっかいてケガをする。またはケガをさせてしまう。
つめの間に汚れが溜まって雑菌が繁殖しやすくなる
つめがはがれたり、われてケガをする。



子どものつめの伸びる速さは個人差がありますが、大人よりも早く伸びます。つめが指先より長くなってきたら、なるべく早めに切ってあげましょう。

子どものつめ切りの注意点



安全な姿勢で切る



子どもがつめ切りの途中で動いてしまうとけがをしてしまう原因になります。そのためにしっかり子どもの姿勢を安定させ、つめを切る指を固定させることが大切になります。1人で難しい場合は抱っこする係とつめを切る係に分担するといいかもかもしれません。

深づめしない



子どもは、爪を深く切りすぎると手足の指をうまく動かすことができなくなってしまう場合があります。深づめすると巻きづめや炎症などを起こしてしまうこともあるので注意しましょう。



つめを丸く仕上げない



子どもの場合はつめの角を落とすすぎると巻きづめの原因になってしまいます。そのため深づめに注意しながら指の先端に沿ってつめの長さを整えて、角を少し落とす程度のつめきりにするといと思います。

入浴後に切らない



子どものつめはもともと柔らかいため、入浴後につめきりをすると切りすぎてしまうことがあります。気をつけましょう。